

シルバーニューディール 内需拡大のカギ

高齢者を標準とした社会づくりを。人口減少時代に突入した日本で最大の懸念が内需の縮小だ。アジアをはじめとする新興国の成長を取り込む「外需の内需化」が声高に叫ばれているが、真の国内需要は喚起できないのか。キーワードは高齢者。個人金融資産の約6割を握り、巨大な市場を形成しつつある「高齢者市場」の活性化が一つの解になる。高齢者視点での街づくりやモノづくり、サービス提供を通じて消費の主役交代を促す。産学官が連携したシルバーニューディール(用語参照)への挑戦が始まった。

(編集委員・井上渉)

高齢者視点で市場活性化

「多くの人が1人の高齢者を支える騎馬戦型社会から、今は『騎馬戦型社会』に突入した。そして2050年には1人が1人を支える『肩車社会』を迎える。支える側にも支えられる側にも知恵が必要になる。国家戦略会議の「叡智のフロンティア部会」であいさつした野田佳彦首相は人口構成の変化に言及し、構造変革の必要性を投げかけた。高齢時代をいかにして乗り切るか。高齢化先進国となった日本の取り組みを世界は注視している。高齢時代にふさわしい経済や社会像を模索する経団連は注視している。

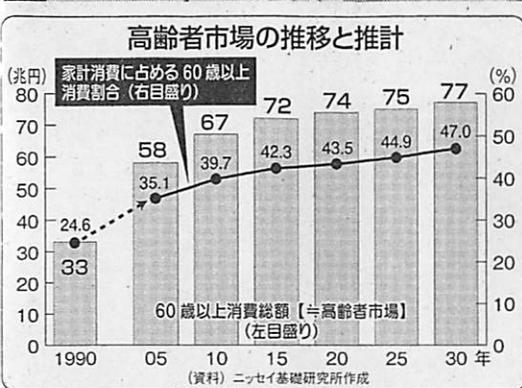
「多くの方が1人の高齢者を支える騎馬戦型社会から、今は『騎馬戦型社会』に突入した。そして2050年には1人が1人を支える『肩車社会』を迎える。支える側にも支えられる側にも知恵が必要になる。国家戦略会議の「叡智のフロンティア部会」であいさつした野田佳彦首相は人口構成の変化に言及し、構造変革の必要性を投げかけた。高齢時代をいかにして乗り切るか。高齢化先進国となった日本の取り組みを世界は注視している。高齢時代にふさわしい経済や社会像を模索する経団連は注視している。

「多くの方が1人の高齢者を支える騎馬戦型社会から、今は『騎馬戦型社会』に突入した。そして2050年には1人が1人を支える『肩車社会』を迎える。支える側にも支えられる側にも知恵が必要になる。国家戦略会議の「叡智のフロンティア部会」であいさつした野田佳彦首相は人口構成の変化に言及し、構造変革の必要性を投げかけた。高齢時代をいかにして乗り切るか。高齢化先進国となった日本の取り組みを世界は注視している。高齢時代にふさわしい経済や社会像を模索する経団連は注視している。

「多くの方が1人の高齢者を支える騎馬戦型社会から、今は『騎馬戦型社会』に突入した。そして2050年には1人が1人を支える『肩車社会』を迎える。支える側にも支えられる側にも知恵が必要になる。国家戦略会議の「叡智のフロンティア部会」であいさつした野田佳彦首相は人口構成の変化に言及し、構造変革の必要性を投げかけた。高齢時代をいかにして乗り切るか。高齢化先進国となった日本の取り組みを世界は注視している。高齢時代にふさわしい経済や社会像を模索する経団連は注視している。



高齢化先進国となった日本の取り組みを世界は注視している

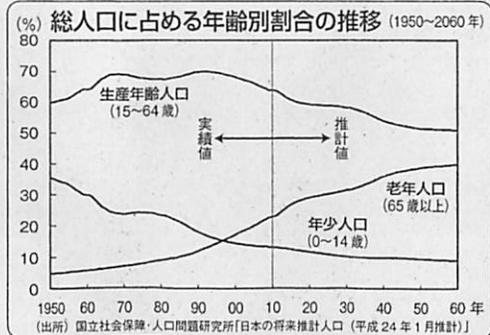


私はこう見る



ポイント「高齢者標準社会」の構築だ。従来の延長線の発想ではなく、世界でも例がない初めての社会モデルという強い意識が必要になる。余生という単語が死語になるような社会づくりを推進すべきだ。担い手はあくまでも民間。官需に頼りすぎるとイノベーションの芽がつかれる。新技術やアイデアを活用したフレックスが重要だ。政府は民間の補完として、テクノロジーの進歩に合わせた制度や基準づくりを急ぐ必要がある。シルバーニューディールは高齢者だけでなくすべての人のための社会

東京大学 政策ビジョン研究センター教授 坂田 一郎氏



費の主役は高齢者にシフトしつつある。ニッセイ基礎研究所の試算によると、「60歳以上消費総額」は10年に67兆円。30年には77兆円に膨らむ。これは内需が10兆円分拡大し、高齢者が市場の主役になることを意味する。「残された数少ない成長市場」と経団連幹部は指摘する。有望市場に対する仕掛けは大学や産業界で始まっている。東京大学政策ビジョン研究センターと産業競争力懇談会(COCCN)は昨年、「活力ある高齢社会に向けた研究報告書」をまとめた。高齢者向けの商品やサービス提供を後押しする「高齢者標準社会基本法の」制定などを求めたほか、メンバードに既存の制度や基準が追いつかず、新技術が眠ってしまいうケースがある。ロボットスーツなどはその典型。国内の厳しい安全基準に対応させる前に海外で先行する日丸技術もある。個々の技術を組み合わせ、新しい社会システムを構築する人材も不足しているほか、民間の活力を押し出すには規制緩和も不可欠。これらの課題を克服して初めて、社会システムの「輸出」という戦略が見えてくる。

余生、が死語の新社会モデル

「余生」を意味する。例えばコンパクトで乗り心地の良い乗り物は、若年層にも受け入れられる。結果として潜在的な内需を喚起するほか、国全体の雇用創出も期待できる。新社会モデルは、今後高齢化を迎える海外諸国に対する有力な輸出産業の「苗床」にもなるはずだ。神奈川県などの地域でも高齢者標準の重要性が広がり、取り組みが始まっている。産学官が連携した全国規模の新社会基盤整備に期待したい。

(談)